

製品名: UMP-CMP キナーゼウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab19625**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	22kDa

抗原情報

遺伝子名	CMPK1 CMPK1; CMK; CMPK; UCK; UMK; UMPK; UMP-CMP kinase; Cytidine monophosphate kinase;
別名	Cytidylate kinase; Deoxycytidylate kinase; Uridine monophosphate kinase; Uridine monophosphate/cytidine monophosphate kinase; UMP/CMP kinase; UMP/CMPK
遺伝子 ID	51727.0
SwissProt ID	P30085
免疫原	抗血清はヒト KCY 由来の合成ペプチドに対して作製された。AA 範囲: 1-50

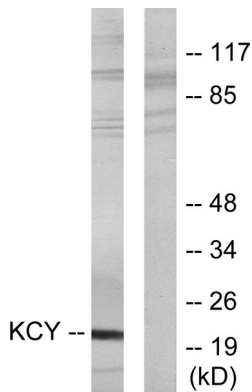
背景

この遺伝子は、細胞内核酸生成に必要な酵素の1つをコードしています。この酵素は、ATPからCMP、UMP、またはdCMPへのリン酸基の転移を触媒し、対応する二リン酸ヌクレオチドを形成します。選択的スプライシングにより、コード領域と非コード領域の両方の転写バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2012年2月]、触媒活性: $ATP + (d)CMP = ADP + (d)CDP$ 、補因子: マグネシウム、機能: ATPからUMPおよびCMPへの特異的なリン酸化転移を触媒します。、類似性: アデニル酸キナーゼファミリーに属します。、細胞内局在: 主に核内。、組織特異性: 普遍的に発現します。、

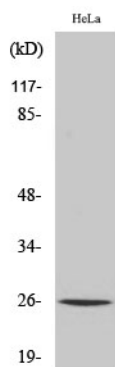
研究分野

ピリミジン代謝;

画像データ



KCY抗体を用いたHeLa細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



UMP-CMPキナーゼポリクローナル抗体(1:500希釈)を用いた各種細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体は1:20000希釈。